

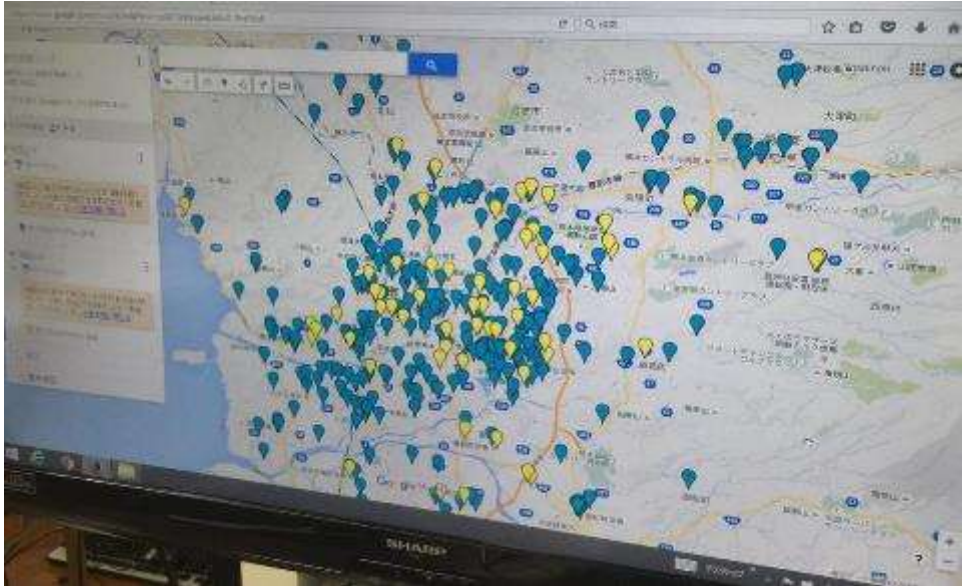
# EDAC

一般社団法人  
救急医療・災害対応無人機等  
自動支援システム活用推進協議会





# 熊本地震



## EDACとは

- 開発から普及展開まで見据えた多彩な人材が揃った理事会
- オープンソースやオープンな規格から構成し、普及展開のため、それ自体もオープンソース化
- 商品開発費や既存ノウハウを各社持ち寄って実施
- 福岡市の進めるIoT拠点形成事業と連携
- 熊本・大分に亘る震災における支援活動(継続中)
- 共通基盤の活用による、生涯学習PF(ボランティア等)や学習・教育クラウドPF(災害避難等)との有事連携



円城寺 雄介  
行政アドバイザー



岡田 竹弘  
機体(ドローン等)開発・研究



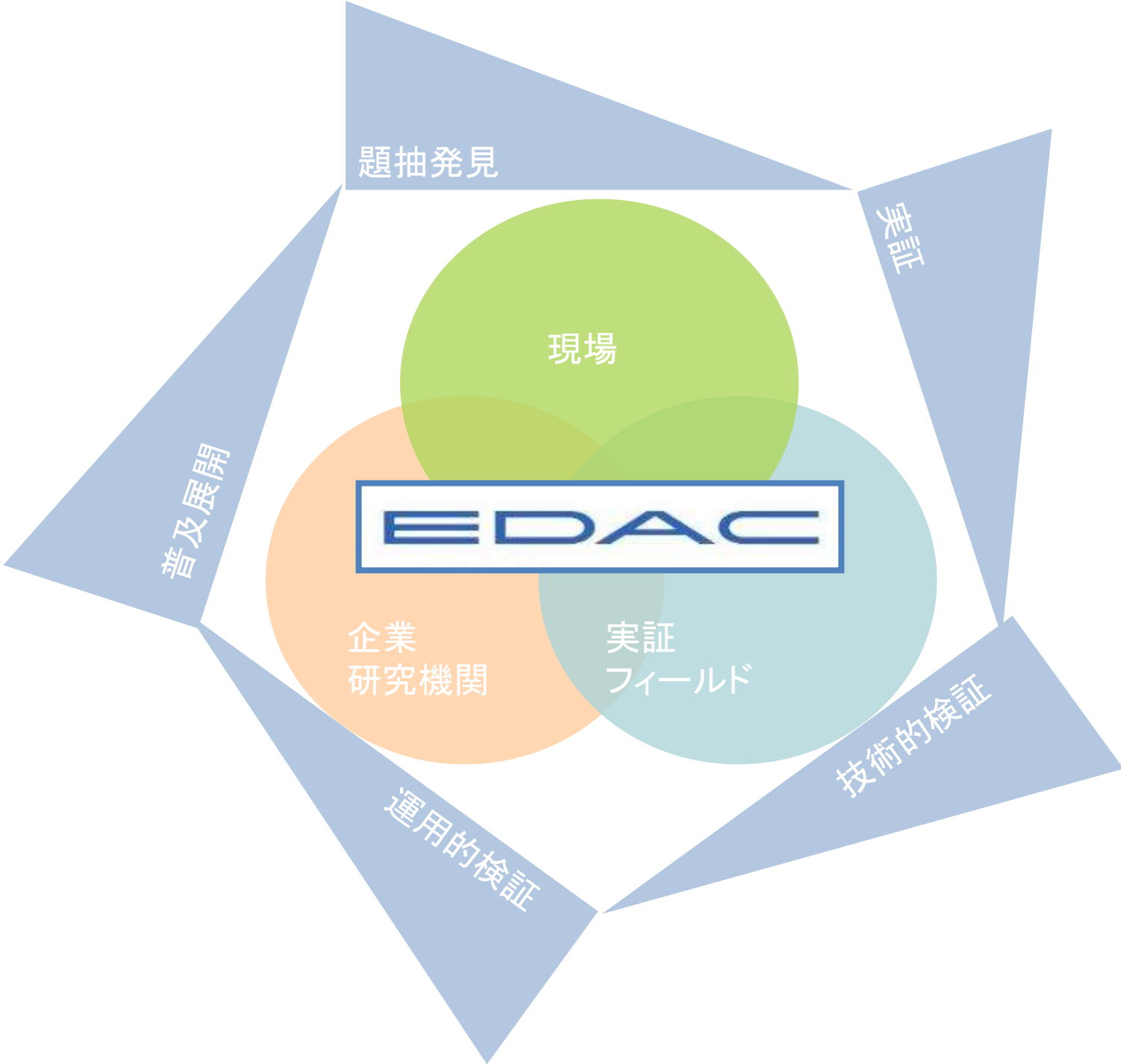
沼田 慎吉  
生体医療用工学アドバイザー



稲田 悠樹  
広報・ドローン導入アドバイザー



大畑 貴弘  
クラウドロボティクス  
基盤ロボット/クラウド  
プログラミング





## 活動実績

攻殻機動隊  
GHOST IN THE SHELL  
**REALIZE PROJECT 2015**

出場招待権 認定証  
Project Hecatoncheir 殿

貴殿は、「攻殻機動隊 REALIZE PROJECT 2015」  
攻殻コンテスト、神戸大会において、  
攻殻度、期待度、欲求度、完成度、発想度において  
高く評価、讃えらるとともに  
「攻殻機動隊 REALIZE PROJECT 2015 the AWARD」  
への出場招待権をここに認定いたします。

平成 27 年 11 月 8 日  
攻殻機動隊 REALIZE PROJECT 事務局

iPadで現場を変える！  
社員も顧客も喜ぶ業務革新(40事例)

iPadはビジネス現場でこそ活きる

人々の行動の中心では、「自分ルール」という言葉がしばしば

「アイパッドから自分ルールにする」  
医学的に河  
体に影響が  
を問うられ  
く治まる。  
救急病院へ  
に、搬送までの時間短縮、ひいては患者の救命率の向上が

熊本日日新聞  
2015年(平成27年) 6月8日 水曜日

支えあおう 熊本  
いま心ひとつに

かんぼろう 河原  
ふるさとの惨状  
空撮映像に驚き

西原村の避難所で上映会

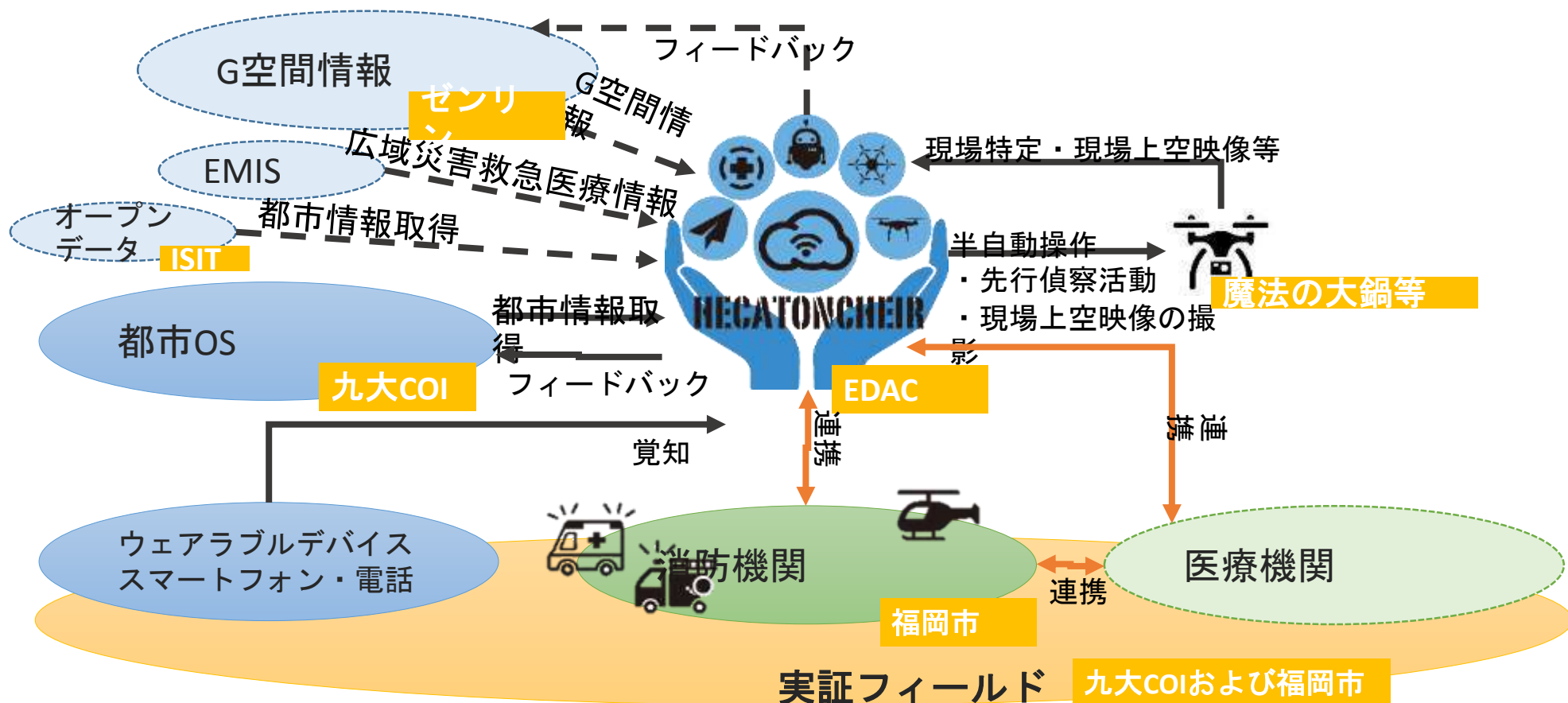
熊本日日新聞が、西原村の避難所で上映会を開催し、被災地の惨状を伝える空撮映像を上映した。約100人が参加し、被災地の惨状を伝える空撮映像に驚き、涙を流す場面もあった。

## 今回の実証内容

事業名	救急医療・災害対応におけるIoT利活用モデル実証事業
代表団体名	一般社団法人救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会（通称：EDAC）
共同提案団体名	九州大学共進化社会システム創成拠点COIプログラム 福岡市 公益財団法人九州先端科学技術研究所 株式会社リアルグローブ 株式会社インフォメーション・ディベロプメント 株式会社ゼンリン 株式会社魔法の大鍋 日本コムクエスト・ベンチャーズ合同会社 Coaido株式会社 株式会社テレパシージャパン
対象分野	<u>ア</u> .都市、 <u>ウ</u> .通信、 <u>オ</u> .医療
実施地域	福岡県福岡市九大伊都キャンパス周辺

# 本事業で構築するリファレンスモデルの概要

都市OSやG空間情報、各種ウェアラブルデバイス等による受動的情報収集と、各種無人機による能動的信息収集やフィードバックを半自律的に統合・制御するシステム。





# IoTサービスの普及にあたって克服すべき具体的課題と、本事業期間中に達成すべき目標

リファレンスモデルを実装し、実証実験することで、以下の課題について、検証する。

番号	課題	本事業期間中の目標
1	救急医療・災害対応におけるIoT（無人機や各種データ）の有用性確認	有用性の期待されるいくつかのユースケースについて、専門家を交えた検討や実証実験を通じて課題や有用性を確認する。
2	夜間および視界外、プロポ電波到達範囲外でのUAV運用	専門家を交えた検討を通じて、必要な認証手続きやそのための運用ノウハウ等を取りまとめ、ガイドラインを策定するための課題や要件を整理する。
3	風雨等の様々な気象条件下でのUAV運用	専門家を交えた検討を通じて、運用ノウハウ等を取りまとめ、ガイドラインを策定するための課題や要件を整理する。
4	パーソナルデータ等の安全な利活用	個人情報保護法に関連する法令を踏まえた上で、パーソナルデータの安全な運用ルールの策定やセキュリティ設計を行うための課題や要件を整理する。
5	無人機運用におけるハッキングや端末の物理的制圧への対処	無人機自体がハッキングされ乗っ取られるようなケースへのヘカトンケイルシステム側の対処や無人機搭載システムが具備すべきセキュリティレベルについてルールを策定するための課題や要件を整理する。
6	無人機運用における事故予防と事故被害の極小化	事故予防や事故被害の極小化を実現できる運用ノウハウ等を取りまとめ、ガイドラインを策定するための課題や要件を整理する。
7	コストモデルの試算とガイドブックの作成	リファレンスモデルを元に、導入のためのコストモデルのや手続き、運用方法等について課題や要件を整理する。

以上の検討成果を踏まえて、普及展開に向けたロードマップを作成する。



# 事業期間後の自立運営と、普及展開に向けた具体的取組

## ＜事業期間後の自立運営＞

- ・会員企業の会費や基金等によって運営

### ＜普及展開に向けた具体的取り組み＞

- ・本実証成果を受けて、事業期間中に有識者や各種企業等を集めてシンポジウムを開催
  - －会員企業（自立運営のための基盤）を集める
  - －普及展開に向けたロードマップを作成する
- ・成果物である普及展開に向けたロードマップを遂行
  - －オープンソース化、健全な競争環境を実現
  - －活用事例の紹介、研究発表、ガイドブック作成
  - －講習会の実施等の普及活動を実施



# EDAC

一般社団法人  
救急医療・災害対応無人機等  
自動支援システム活用推進協議会

救えるべき命を救う  
社会の実現